

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	岡山盲学校		所在地	岡山市中区原尾島四丁目16番53号	
敷地面積	27, 509. 60 m ²		棟数	45 棟 (計画記載対象 13 棟)	
延床面積	8, 875. 12 m ²			※対象は200㎡以上の建物(車庫、倉庫等は500㎡以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	特別支援学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 5強		津波 -		浸水 -	
建築規制	市街化区域、第一種低層住居専用地域 建ぺい率50%、容積率100%				
エネルギー使用量 (2016 年度)	電気 231,103 kwh	ガス 2,529 m ³	水道 5,468 m ³	燃料 (灯油・A重油) 24,352 0	灯油:4,752 A重油:19,600
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(洪水、津波) 協定による避難場所				

1 施設内建物の概況

名 称	屋内体育館棟(42棟)9	教室棟(47棟)7-1	普通教室棟(51棟)7-2
築年(西暦)	1965 年	1969 年	1969 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 2 階
建築面積	392.92 m ²	150.75 m ²	109.50 m ²
延床面積	392.92 m ²	301.50 m ²	219.00 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	普通教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	—	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	特別教室棟(53棟)7-3	食堂棟(61棟)27	教室棟(74棟)35
築年(西暦)	1971 年	1978 年	1983 年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	150.75 m ²	360.00 m ²	527.72 m ²
延床面積	301.50 m ²	360.00 m ²	1450.99 m ²
主要な用途 (室名等)	被服室 調理室 社会科室	給食室 調理室	普通教室 音楽室 視聴覚室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	教室棟(75棟)36-1	管理棟(78棟)37	高等部棟(82棟)39
築年(西暦)	1984 年	1985 年	1986 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	468.43 m ²	630.85 m ²	331.95 m ²
延床面積	1,299.31 m ²	1,174.81 m ²	722.80 m ²
主要な用途 (室名等)	保健室 普通教室 実習室	校長室 事務室 応接室	普通教室 解剖室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	渡廊下棟(84棟)	寄宿舍棟(56棟)22	寄宿舍棟(59棟)25
築年(西暦)	1986 年	1975 年	1976 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	202.04 m ²	234.42 m ²	277.32 m ²
延床面積	202.04 m ²	457.14 m ²	511.74 m ²
主要な用途 (室名等)	渡廊下	舎室	舎室
主要な設備 (屋外を含む)	—	—	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	適	適
		適	適
長期使用の 適否	適	適	適
	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	寄宿舍棟(70棟)32		
築年(西暦)	1981 年	年	年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	造 階	造 階
建築面積	178.53 m ²	m ²	m ²
延床面積	340.96 m ²	m ²	m ²
主要な用途 (室名等)	舎室 多目的室		
主要な設備 (屋外を含む)	—		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

岡山聾学校との将来的な一体型整備も見据えながら、各棟の予防保全を図ることを基本としつつ、老朽化の進んだ建物について必要に応じて修繕を行う。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
屋内体育館棟(42棟)9	予防保全を図る。
教室棟(47棟)7-1	予防保全を図る。
普通教室棟(51棟)7-2	予防保全を図る。
特別教室棟(53棟)7-3	予防保全を図る。
食堂棟(61棟)27	予防保全を図る。
教室棟(74棟)35	予防保全を図る。
教室棟(75棟)36-1	予防保全を図る。
管理棟(78棟)37	予防保全を図る。
高等部棟(82棟)39	予防保全を図る。
渡廊下棟(84棟)	予防保全を図る。
寄宿舍棟(56棟)22	予防保全を図る。
寄宿舍棟(59棟)25	予防保全を図る。
寄宿舍棟(70棟)32	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール (概 要)

予防保全を図る。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
屋内体育館棟 (42棟)9	予防保全	予防保全を図る。									
教室棟(47棟) 7-1	予防保全		施工 2						予防保全を図る。		
普通教室棟(51 棟)7-2	予防保全		施工 47棟 に含						予防保全を図る。		
特別教室棟(53 棟)7-3	予防保全		施工 47棟 に含						予防保全を図る。		
食堂棟(61棟) 27	予防保全								予防保全を図る。		
教室棟(74棟) 35	予防保全								予防保全を図る。		
教室棟(75棟) 36-1	予防保全								予防保全を図る。		
管理棟(78棟) 37	予防保全				空調				予防保全を図る。		
高等部棟(82 棟)39	予防保全								予防保全を図る。		
渡廊下棟(84 棟)	予防保全								予防保全を図る。		
寄宿舍棟(56 棟)22	予防保全								予防保全を図る。		
寄宿舍棟(59 棟)25	予防保全								予防保全を図る。		
寄宿舍棟(70 棟)32	予防保全								予防保全を図る。		

4. 概算費用

総額 2億円(長寿命化改修 2億円)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	教室棟(47棟)、普通教室棟(51棟)及び特別教室棟(53棟)において、長寿命化改修工事のスケジュールを変更
R4.3	食堂棟(61棟)において、長寿命化改修工事のスケジュールを変更 渡廊下棟(84棟)及び寄宿舍棟(56,59,70棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R5.3	管理棟(78棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R7.1	対応方針及び施設全体のスケジュールを変更